

「現地活動報告」

2015年2月

JICA 日系社会シニアボランティア 横山 勉

サンファン診療所との連携から...

サンファンに赴任してからの2～3ヶ月間は、まずは、ゆっくりと様子を見る...ということで過ごしましたが、その後は、徐々に、さまざまな課題等を整理し、出来ることからスタートしました。

まずは、移住地の高齢者との関わりを深めようと、サンファン診療所で行われる健康診断に同席させていただき、一人一人の高齢者と問診票を基に、聞き取りを行いながら、高齢者との関わるきっかけづくりをし、併せて高齢者が抱えている不安・心配なことなど、今後の支援策についても、ある程度、整理することが出来ました。この関わりは、保健との連携を構築することも目的としており、その足がかりが出来た活動と言えると思います。



サンファン診療所 診療所の看護師と保健との連携の構築を目的に高齢者の健康診断に同席し、一人一人問診により 実態把握を行った。1週間で90名近い高齢者の方々と関わる。

デイサービス並びにパワーリハビリを支えるサポーターへの研修会

移住地では、高齢者のサービス利用はデイサービスとパワーリハビリがありますが、その利用者を支えているのがサポーターです。ほとんどの方が主婦で、空いた時間を利用して高齢者の方々を支えています。

そのサポーターの方々のレベルは高く、利用者も安心・安全に利用していますが、今以上に資質向上をめざし、研修会を開催しながら、なお一層のレベルアップを目指しています。その研修会を企画・開催したのが右の写真です。総勢20名の参加により、約1時間半にわたり、グループ別に意見交換等をし最後に発表するという内容です。

今回のテーマは、「ご利用者が、今以上に、安心・安全に施設をご利用していただくには何が必要か...、今、自分に出来ることは...」というテーマです。あまり、難しいテーマは設定せず、身近なことを取り上げ、今後も開催していく予定です。次回の研修会のテーマは、関心の高い「認知症について」です。



サンファン開拓者憩いの郷
デイサービスやパワーリハビリのサポーターの方々に対しての研修会の様子。サポーターの資質向上を目的に、定期的を開催。